



平成30年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年5月15日

上場会社名 あいホールディングス株式会社
 コード番号 3076 URL <http://www.aiholdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 佐々木 秀吉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 吉田 周二
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3249-6335

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第3四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第3四半期	42,743	10.3	7,096	5.1	7,276	3.9	4,922	4.7
29年6月期第3四半期	38,737	5.0	6,753	7.8	7,000	8.1	4,702	5.8

(注) 包括利益 30年6月期第3四半期 4,990百万円 (△3.0%) 29年6月期第3四半期 5,143百万円 (43.0%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年6月期第3四半期	103.94		—	
29年6月期第3四半期	99.30		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円	百万円	円		
30年6月期第3四半期	59,710		42,493		71.1	897.24
29年6月期	55,027		39,209		71.2	827.90

(参考) 自己資本 30年6月期第3四半期 42,461百万円 29年6月期 39,185百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
29年6月期	—	18.00	—	18.00	36.00
30年6月期	—	18.00	—		
30年6月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	55,800	11.3	9,500	11.7	9,800	10.1	6,600	10.1	139.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年6月期3Q	56,590,410 株	29年6月期	56,590,410 株
30年6月期3Q	9,230,670 株	29年6月期	9,229,987 株
30年6月期3Q	47,360,069 株	29年6月期3Q	47,360,797 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や堅調な雇用・所得情勢を受けて穏やかな回復基調が継続しました。一方、海外においては、米国経済の企業概況は堅調さを維持しているものの、米中の貿易摩擦懸念などもあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては環境変化に機動的に即応し、効率性や採算性を考慮した社内体制の強化・整備を図り、利益重視の経営を推進いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は427億4千3百万円（前年同四半期比10.3%増）となり、営業利益は70億9千6百万円（前年同四半期比5.1%増）、経常利益は72億7千6百万円（前年同四半期比3.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は49億2千2百万円（前年同四半期比4.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① セキュリティ機器

セキュリティ機器につきましては、堅調なマンション向けに加えて、一般法人向けも好調であった事により、売上高は94億4千1百万円（前年同四半期比5.0%増）、セグメント利益は36億7千5百万円（前年同四半期比9.4%増）となりました。

② カード機器及びその他事務用機器

カード機器及びその他事務用機器につきましては、鉄骨業界向けの専用CADソフトの販売が引き続き堅調に推移すると共に、NBS Technologies Inc.の業績が回復基調にあることから、売上高は48億5千6百万円（前年同四半期比29.4%増）、セグメント利益は6億7千3百万円（前年同四半期比30.9%増）となりました。

③ 情報機器

情報機器につきましては、海外市場におけるコンシューマ向け小型カッティングマシンの販売が前年並みに推移する一方、業務用カッティングマシンが好調に推移したものの、新製品の開発費用の増加に伴い、売上高は124億1千7百万円（前年同四半期比3.8%増）セグメント利益は15億6千7百万円（前年同四半期比2.5%減）となりました。

④ 計測機器及び環境試験装置

計測機器及び環境試験装置につきましては、計測機器は堅調に推移したものの、新たに導入を開始した検査装置等の製造コストの改善に引き続き努めているため、売上高は16億2千9百万円（前年同四半期比0.8%減）、セグメント利益は1億1千1百万円（前年同四半期比48.9%減）となりました。

⑤ 設計事業

設計事業につきましては、受注案件が堅調に推移したこと等により、売上高は39億9百万円（前年同四半期比0.1%減）となったものの、外注原価の増加等によりセグメント利益は5億9千1百万円（前年同四半期比7.6%減）となりました。

⑥ リース及び割賦事業

リース及び割賦事業につきましては、売上高は80億5千8百万円（前年同四半期比33.9%増）、セグメント利益は1億5千7百万円（前年同四半期比15.1%増）となりました。

⑦ その他

その他につきましては、売上高は24億2千9百万円（前年同四半期比1.3%減）、セグメント利益は2億5千8百万円（前年同四半期比2.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して46億8千2百万円増加し、597億1千万円となりました。主な要因は、流動資産の受取手形及び売掛金16億6千8百万円増加、リース投資資産10億6千8百万円増加、投資その他の資産の関係会社株式8億1千5百万円増加等であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して13億9千9百万円増加し、172億1千7百万円となりました。主な要因は、流動負債のリース債務12億1百万円増加等であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して32億8千3百万円増加し、424億9千3百万円となりました。主な要因は、四半期純利益49億2千2百万円の計上、配当金17億4百万円の支払、等であります。この結果、自己資本比率は71.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成29年8月18日付の「平成29年6月期決算短信」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,938	17,843
受取手形及び売掛金	7,459	9,128
リース投資資産	4,329	5,397
商品及び製品	5,162	5,038
仕掛品	361	549
未成工事支出金	166	129
原材料及び貯蔵品	953	982
その他	1,686	1,777
貸倒引当金	△49	△48
流動資産合計	38,007	40,799
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,243	1,499
土地	4,316	4,627
その他(純額)	1,237	1,503
有形固定資産合計	6,797	7,630
無形固定資産		
のれん	3,129	2,922
その他	314	362
無形固定資産合計	3,443	3,284
投資その他の資産		
投資有価証券	1,601	2,286
関係会社株式	3,622	4,437
その他	1,579	1,288
貸倒引当金	△24	△15
投資その他の資産合計	6,779	7,995
固定資産合計	17,020	18,911
資産合計	55,027	59,710

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,969	4,295
リース債務	3,926	5,127
未払法人税等	1,161	623
賞与引当金	130	432
製品保証引当金	2	2
受注損失引当金	4	4
その他	2,501	2,631
流動負債合計	11,695	13,118
固定負債		
リース債務	1,074	1,035
退職給付に係る負債	1,237	1,304
資産除去債務	8	7
その他	1,802	1,752
固定負債合計	4,122	4,099
負債合計	15,818	17,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	9,030	9,030
利益剰余金	30,134	33,352
自己株式	△4,698	△4,700
株主資本合計	39,466	42,682
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121	465
為替換算調整勘定	△344	△638
退職給付に係る調整累計額	△58	△47
その他の包括利益累計額合計	△281	△220
非支配株主持分	24	31
純資産合計	39,209	42,493
負債純資産合計	55,027	59,710

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成30年3月31日)
売上高	38,737	42,743
売上原価	23,025	26,213
売上総利益	15,712	16,530
販売費及び一般管理費		
役員報酬	245	267
給料及び手当	2,952	3,103
賞与	373	400
賞与引当金繰入額	349	292
退職給付費用	155	157
その他	4,882	5,214
販売費及び一般管理費合計	8,958	9,433
営業利益	6,753	7,096
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	1	—
持分法による投資利益	220	290
為替差益	32	—
受取賃貸料	0	—
その他	36	29
営業外収益合計	292	323
営業外費用		
支払利息	8	6
為替差損	—	115
貸倒引当金繰入額	0	0
租税公課	21	—
雑損失	10	—
その他	5	19
営業外費用合計	45	143
経常利益	7,000	7,276
特別利益		
投資有価証券売却益	—	136
債務免除益	119	—
その他	—	3
特別利益合計	119	139
特別損失		
固定資産除却損	0	7
事業構造改善費用	—	12
その他	—	2
特別損失合計	0	23
税金等調整前四半期純利益	7,119	7,393
法人税、住民税及び事業税	2,642	2,411
法人税等調整額	△219	52
法人税等合計	2,422	2,463
四半期純利益	4,696	4,929
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,702	4,922

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成30年3月31日)
四半期純利益	4,696	4,929
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57	289
為替換算調整勘定	467	△295
退職給付に係る調整額	15	11
持分法適用会社に対する持分相当額	△94	55
その他の包括利益合計	446	60
四半期包括利益	5,143	4,990
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,149	4,982
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリ ティ機器	カード機 器及びそ の他事務 用機器	情報機器	計測機器 及び環境 試験装置	設計事業	リース 及び 割賦事業	計			
売上高										
外部顧客へ の売上高	8,988	3,753	11,957	1,642	3,913	6,018	36,274	2,461	1	38,737
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	230	80	40	—	0	11	363	126	△489	—
計	9,219	3,833	11,997	1,642	3,913	6,030	36,637	2,588	△488	38,737
セグメント 利益	3,359	514	1,606	219	640	136	6,476	253	23	6,753

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カードリーダー及び自動おしぼり製造機の製造・販売、保守サービスの提供、並びに、ソフトウェアの開発・販売等を行っております。

2. セグメント利益の調整額23百万円には、セグメント間取引消去△37百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益60百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年7月1日至平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリ ティ機器	カード機 器及びそ の他事務 用機器	情報機器	計測機器 及び環境 試験装置	設計事業	リース 及び 割賦事業	計			
売上高										
外部顧客へ の売上高	9,441	4,856	12,417	1,629	3,909	8,058	40,312	2,429	1	42,743
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	57	92	39	—	0	2	191	135	△327	—
計	9,498	4,948	12,457	1,629	3,910	8,060	40,504	2,565	△326	42,743
セグメント 利益	3,675	673	1,567	111	591	157	6,776	258	60	7,096

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カードリーダー及び自動おしぼり製造機の製造・販売、保守サービスの提供、並びに、ソフトウェアの開発・販売等を行っております。
2. セグメント利益の調整額60百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益56百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来報告セグメントとして開示しておりました「保守サービス」は量的な重要性が低下したため、報告セグメントから除外し「その他」としております。

この結果、報告セグメントを従来の「セキュリティ機器」、「カード機器及びその他事務用機器」、「保守サービス」、「情報機器」、「計測機器及び環境試験装置」、「設計事業」、「リース及び割賦事業」の7区分から「セキュリティ機器」、「カード機器及びその他事務用機器」、「情報機器」、「計測機器及び環境試験装置」、「設計事業」、「リース及び割賦事業」の6区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。